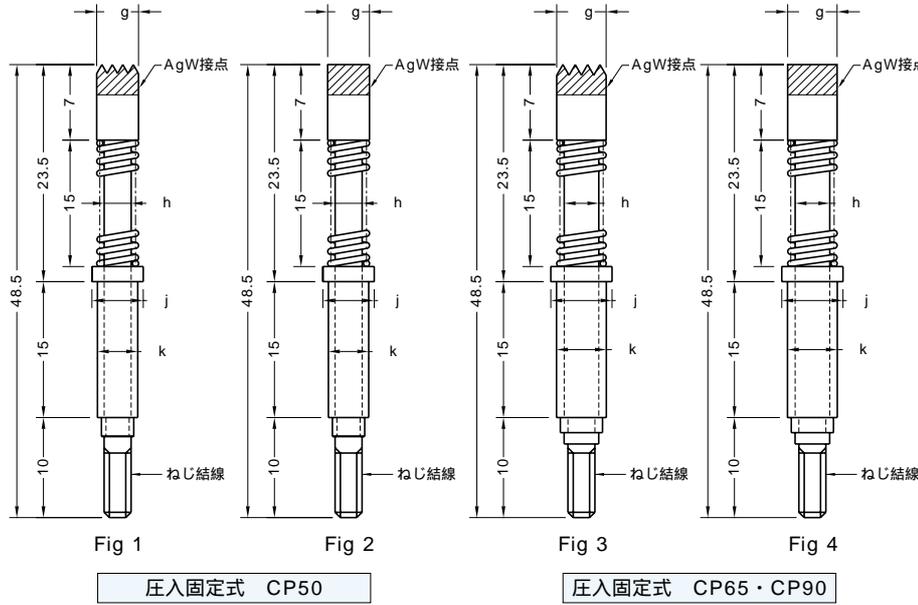


AgW接点 大電流用導電接触ピン CP50~CP90 (先端形状記号 D、F)

ピン先端の接触部にAgW合金を使用した大電流用の導電接触ピンです。導電率の大きい銀と溶融点の高いタングステンの合金は、接触抵抗が低く耐アーク性に優れた特性があります。通常のピンでは使用不可能な、大きい突入電流が発生する箇所にも使用できます。

総合一覧表
導電接触



CP50~CP90 (AgW接点 導電接触ピン)

プッシュ部耐久性 50万回以上
(2mmストローク、60回/60秒)

耐熱温度 100 以下

耐熱導電接触ピンは、特注仕様となります。

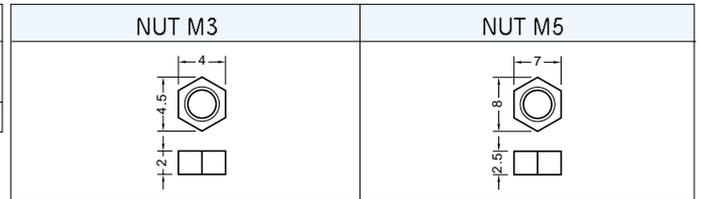
上記のプッシュ部耐久性は、社内テストの結果です。保証値ではありません。使用条件によっては寿命が短くなりますので、ご注意ください。

(結線方法一覧表)

種 類	結線方法
CP50	M3ナット締め
CP65	
CP90	M5ナット締め

(結線用ナットは付属品となります。)

(ナット寸法)



(寸法の単位はmm)

Fig	種 類	個別表参照頁	先端形状記号	g	h	j	k	使用可能電流(A)	突入電流(A)	固有抵抗(m)	接触抵抗(m)
1	CP50	P224	D 5 -AgW	5	3	5	4.2	20	80以下	0.5	3.5以下
			D4 8 -AgW	8							
			D6 10 -AgW	10							
			F 5 -AgW	5							
			F 8 -AgW	8							
2	CP50	P224	F 10 -AgW	10							
			D2 6 -AgW	6							
			D4 8 -AgW	8							
			D6 10 -AgW	10							
			F 6 -AgW	6							
3	CP65	P225	F 8 -AgW	8	4.5	6.5	5.7	35	80以下	0.2	3.0以下
			F 10 -AgW	10							
			D4 8 -AgW	8							
			D6 10 -AgW	10							
3	CP90	P226	F 8 -AgW	8	6	9	8	50	80以下	0.1	2.0以下
			F 10 -AgW	10							
			D4 8 -AgW	8							
			D6 10 -AgW	10							
4	CP90	P226	F 10 -AgW	10							

注意

- 1.接触部はワークの材質や形状の影響が大きく、一定の条件を保つ事は困難です。記載されている使用可能電流値や突入電流値は、あくまでも推定値にすぎません。
- 2.条件によっては、記載された範囲内でもアークや発熱が発生します。使用開始前には必ずアークの発生や発熱等の有無を確認し、使用可能な電流値の範囲をご確認した後使用して下さい。
- 3.使用後は接触部の摩擦等によりアークや発熱が発生します。使用を開始したら、必ず定期的にあークや発熱等が発生していない事をご確認の後、使用を継続するようにしてください。

警告

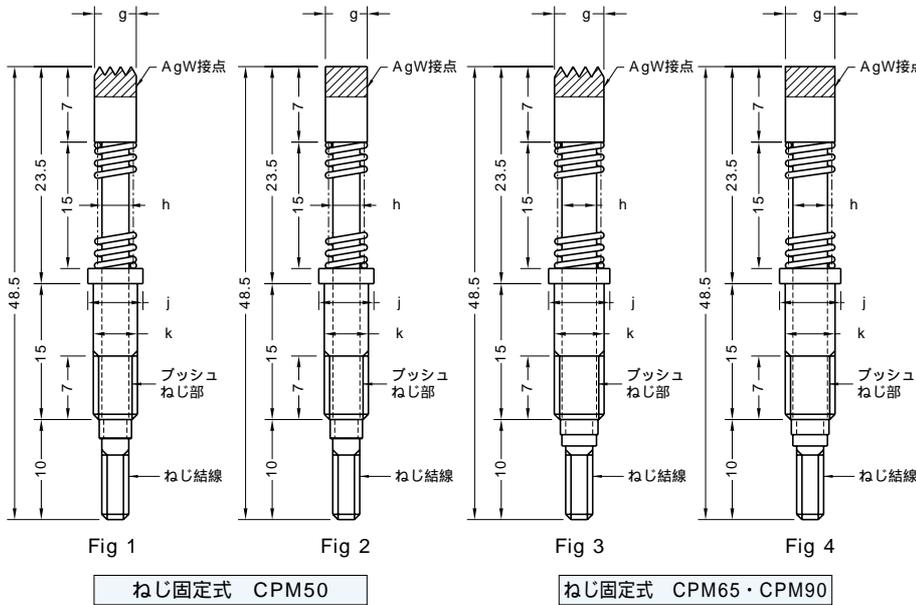
ワークの材質や形状等によりアークの発生または発熱等の問題が発生することがあります。使用開始前には必ず、使用中は定期的にあークの発生や発熱等の有無を確認してください。上記問題が発生した場合は速やかに使用を中止してください。放置した場合は火災などの発生を引き起こす場合があります。

先端形状記号の参照ページ

D	P283	F	P284			
---	------	---	------	--	--	--

AgW接点 大電流用導電接触ピン CPM50~CPM90 (先端形状記号 D、F)

大電流用のねじ固定式導電接触ピンです。ピンの固定が不安定な場合、大電流を通電すると、ショート、アークの発生や発熱などの危険があります。大電流を通電する場合は、ねじ固定式のCPMをお勧めします。



CPM50~CPM90 (AgW接点 導電接触ピン)

プッシュ部耐久性 50万回以上
(2mmストローク、60回/60秒)

耐熱温度 100 以下

耐熱導電接触ピンは、特注仕様となります。

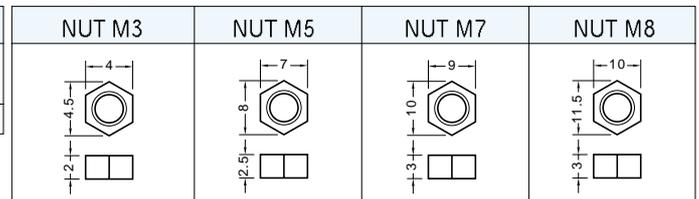
上記のプッシュ部耐久性は、社内テストの結果です。保証値ではありません。使用条件によっては寿命が短くなりますので、ご注意ください。

(ねじ部、結線方法一覧表)

種 類	プッシュねじ部	結線方法
CPM50	M5 × P0.8	M3ナット締め
CPM65	M7 × P0.75	
CPM90	M8 × P0.75	M5ナット締め

(プッシュ固定用ナット、結線用ナットは付属品となります。)

(ナット寸法)



(寸法の単位はmm)

Fig	種 類	個別表参照頁	先端形状記号	g	h	j	k	使用可能電流(A)	突入電流(A)	固有抵抗(m)	接触抵抗(m)
1	CPM50	P227	D 5 -AgW	5	3	7	5	20	80以下	0.5	3.5以下
			D4 8 -AgW	8							
			D6 10 -AgW	10							
			F 5 -AgW	5							
2	CPM50	P227	F 8 -AgW	8							
			F 10 -AgW	10							
			F 10 -AgW	10							
3	CPM65	P228	D2 6 -AgW	6	4.5	9	7	35	80以下	0.2	3.0以下
			D4 8 -AgW	8							
			D6 10 -AgW	10							
			F 6 -AgW	6							
4	CPM65	P228	F 8 -AgW	8							
			F 10 -AgW	10							
			F 10 -AgW	10							
3	CPM90	P229	D4 8 -AgW	8	6	10	8	50	80以下	0.1	2.0以下
			D6 10 -AgW	10							
			F 8 -AgW	8							
			F 10 -AgW	10							
4	CPM90	P229	F 10 -AgW	10							

注意

1. 接触部はワークの材質や形状の影響が大きく、一定の条件を保つ事は困難です。記載されている使用可能電流値や突入電流値は、あくまでも推定値にすぎません。
2. 条件によっては、記載された範囲内でもアークや発熱が発生します。使用開始前には必ずアークの発生や発熱等の有無を確認し、使用可能な電流値の範囲をご確認した後使用して下さい。
3. 使用後は接触部の摩耗等によりアークや発熱が発生します。使用を開始したら、必ず定期的にアークや発熱等が発生していない事をご確認の後、使用を継続するようにしてください。

警告

ワークの材質や形状等によりアークの発生または発熱等の問題が発生することがあります。使用開始前には必ず、使用中は定期的にアークの発生や発熱等の有無を確認してください。上記問題が発生した場合は速やかに使用を中止してください。放置した場合は火災などの発生を引き起こす場合があります。

先端形状記号の参照ページ

D	P283	F	P284				
---	------	---	------	--	--	--	--

AgW接点 端子台専用大電流用導電接触ピン CP50~CP90 (先端形状記号 M)

先端は端子台などのねじに合わせた形状になっています。この形状は、DやFよりも接触面積が広く、接触が安定します。被膜を破る事ができませんので、絶縁被膜があると接触不良により、アークが発生する場合がありますので注意してください。

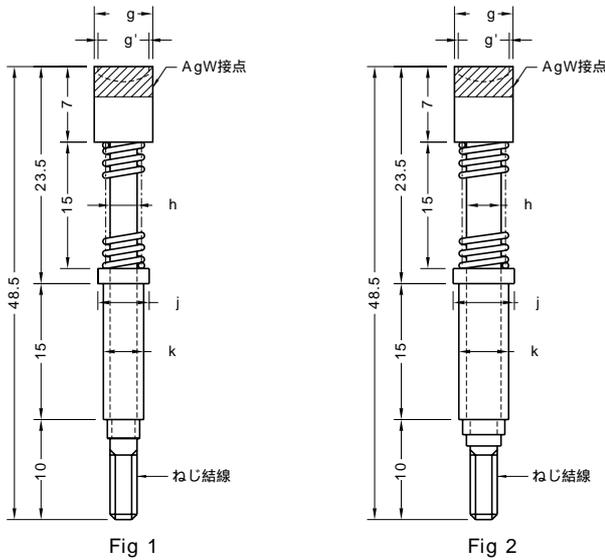


Fig 1 圧入固定式 CP50

Fig 2 圧入固定式 CP65・CP90

CP50~CP90 (AgW接点 導電接触ピン)
 プッシュ部耐久性 50万回以上
 (2mmストローク、60回/60秒)
 耐熱温度 100 以下

耐熱導電接触ピンは、特注仕様となります。

上記のプッシュ部耐久性は、社内テストの結果です。保証値ではありません。使用条件によっては寿命が短くなりますので、ご注意ください。

総合一覧表 CP 導電接触ピン

(結線方法一覧表)

種類	結線方法
CP50	M3ナット締め
CP65	
CP90	M5ナット締め

(結線用ナットは付属品となります。)

(ナット寸法)

NUT M3	NUT M5

(寸法の単位はmm)

Fig	種類	個別表参照頁	先端形状記号	g	g'	h	j	k	使用可能電流(A)	突入電流(A)	固有抵抗(m)	接触抵抗(m)
1	CP50	P224	M3PM-AgW	5.3	4.5	3	5	4.2	20	80以下	0.5	3.5以下
			M3BM-AgW	7	6.1							
			M4PM-AgW	7.4	6.8							
			M4BM-AgW	8.8	8.2							
2	CP65	P225	M4PM-AgW	7.4	6.8	4.5	6.5	5.7	35	80以下	0.2	3.0以下
			M4BM-AgW	8.8	8.2							
			M5PM-AgW	10	9							
2	CP90	P226	M5BM-AgW	11.5	10.5	6	9	8	50	80以下	0.1	2.0以下
			M4BM-AgW	8.8	8.2							
			M5PM-AgW	10	9							
			M6PM-AgW	12.5	11							
			M6BM-AgW	13	11.8							

注意

1. 接触部はワークの材質や形状の影響が大きく、一定の条件を保つ事は困難です。記載されている使用可能電流値や突入電流値は、あくまでも推定値にすぎません。
2. 条件によっては、記載された範囲内でもアークや発熱が発生します。使用開始前には必ずアークの発生や発熱等の有無を確認し、使用可能な電流値の範囲をご確認した後使用して下さい。
3. 使用後は接触部の摩耗等によりアークや発熱が発生します。使用を開始したら、必ず定期的にあークや発熱等が発生していない事をご確認の後、使用を継続するようにしてください。

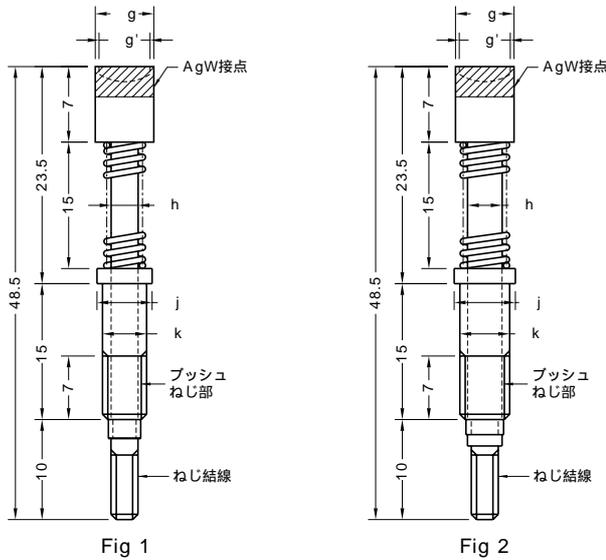
警告

ワークの材質や形状等によりアークの発生または発熱等の問題が発生することがあります。使用開始前には必ず、使用中は定期的にアークの発生や発熱等の有無を確認してください。上記問題が発生した場合は速やかに使用を中止してください。放置した場合は火災などの発生を引き起こす場合があります。

先端形状記号の参照ページ	
M	P284

AgW接点 端子台専用大電流用導電接触ピン CPM50~CPM90 (先端形状記号 M)

大電流用のねじ固定式導電接触ピンです。ピンの固定が不安定な場合、大電流を通電すると、ショート、アークの発生や発熱などの危険があります。大電流を通電する場合は、ねじ固定式のCPMをお勧めします。



ねじ固定式 CPM50

ねじ固定式 CPM65・CPM90

CPM50~CPM90 (AgW接点 導電接触ピン)

プッシュ部耐久性 50万回以上
(2mmストローク、60回/60秒)

耐熱温度 100 以下

耐熱導電接触ピンは、特注仕様となります。

上記のプッシュ部耐久性は、社内テストの結果です。保証値ではありません。使用条件によっては寿命が短くなりますので、ご注意ください。

(ねじ部、結線方法一覧表)

種 類	プッシュねじ部	結線方法
CPM50	M5 × P0.8	M3ナット締め
CPM65	M7 × P0.75	
CPM90	M8 × P0.75	M5ナット締め

(プッシュ固定用ナット、結線用ナットは付属品となります。)

(ナット寸法)

NUT M3	NUT M5	NUT M7	NUT M8

(寸法の単位はmm)

Fig	種 類	個別表参照頁	先端形状記号	g	g'	h	j	k	使用可能電流(A)	突入電流(A)	固有抵抗(m)	接触抵抗(m)
1	CPM50	P227	M3PM-AgW	5.3	4.5	3	7	5	20	80以下	0.5	3.5以下
			M3BM-AgW	7	6.1							
			M4PM-AgW	7.4	6.8							
			M4BM-AgW	8.8	8.2							
2	CPM65	P228	M4PM-AgW	7.4	6.8	4.5	9	7	35	80以下	0.2	3.0以下
			M4BM-AgW	8.8	8.2							
			M5PM-AgW	10	9							
			M5BM-AgW	11.5	10.5							
2	CPM90	P229	M4BM-AgW	8.8	8.2	6	10	8	50	80以下	0.1	2.0以下
			M5PM-AgW	10	9							
			M5BM-AgW	11.5	10.5							
			M6PM-AgW	12.5	11							
			M6BM-AgW	13	11.8							

注意

1. 接触部はワークの材質や形状の影響が大きく、一定の条件を保つ事は困難です。記載されている使用可能電流値や突入電流値は、あくまでも推定値にすぎません。
2. 条件によっては、記載された範囲内でもアークや発熱が発生します。使用開始前には必ずアークの発生や発熱等の有無を確認し、使用可能な電流値の範囲をご確認した後使用して下さい。
3. 使用後は接触部の摩耗等によりアークや発熱が発生します。使用を開始したら、必ず定期的にアークや発熱等が発生していない事をご確認の後、使用を継続するようにしてください。

警告

ワークの材質や形状等によりアークの発生または発熱等の問題が発生することがあります。使用開始前には必ず、使用中は定期的にアークの発生や発熱等の有無を確認してください。上記問題が発生した場合は速やかに使用を中止してください。放置した場合は火災などの発生を引き起こす場合があります。

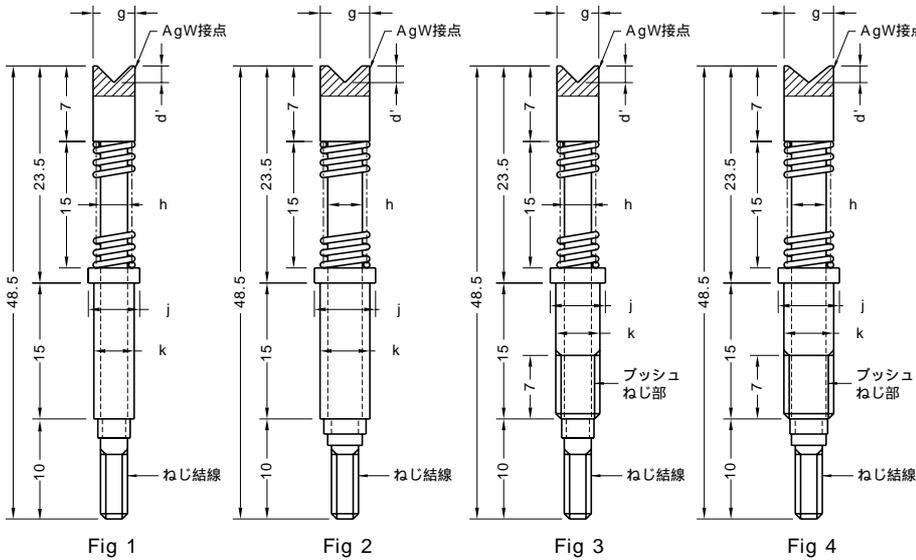
先端形状記号の参照ページ

M	P284				
---	------	--	--	--	--

AgW接点 タブ端子専用大電流用導電接触ピン CPR50,CPR65,CPRM50,CPRM65

先端はタブ端子などの平板の側面に合わせた形状になっています。この形状はDやFよりも接触面積が広く、接触が安定します。被膜を破る事ができませんので、絶縁被膜があると接触不良により、アークが発生する場合がありますので注意してください。

総合一覧表
導電接触ピン



CPR50,CPR65,CPRM50,CPRM65 (AgW接点 導電接触ピン)
 プッシュ部耐久性 50万回以上
 (2mmストローク、60回/60秒)
 耐熱温度 100 以下

耐熱導電接触ピンは、特注仕様となります。

上記のプッシュ部耐久性は、社内テストの結果です。保証値ではありません。使用条件によっては寿命が短くなりますので、ご注意ください。

圧入固定式 CPR50 圧入固定式 CPR65 ねじ固定式 CPRM50 ねじ固定式 CPRM65

(ねじ部、結線方法一覧表)

種 類	プッシュねじ部	結線方法
CPR50	-	M3ナット締め
CPR65	-	
CPRM50	M5 x P0.8	
CPRM65	M7 x P0.75	

(プッシュ固定用ナット、結線用ナットは付属品となります。)

(ナット寸法)

NUT M3	NUT M5	NUT M7

(寸法の単位はmm)

Fig	種 類	個別表参照頁	先端形状記号	d'	g	h	j	k	使用可能電流(A)	突入電流(A)	固有抵抗(m)	接触抵抗(m)
1	CPR50	P224	VC 5 -AgW	2	5	3	5	4.2	15	80以下	0.5	3.0以下
			VC 8 -AgW		8							
2	CPR65	P225	VC 6 -AgW	2.5	6	4.5	6.5	5.7	20	80以下	0.2	2.5以下
			VC 8 -AgW		8							
3	CPRM50	P227	VC 5 -AgW	2	5	3	7	5	15	80以下	0.5	3.0以下
			VC 8 -AgW		8							
4	CPRM65	P228	VC 6 -AgW	2.5	6	4.5	9	7	20	80以下	0.2	2.5以下
			VC 8 -AgW		8							

注意

1. 接触部はワークの材質や形状の影響が大きく、一定の条件を保つ事は困難です。記載されている使用可能電流値や突入電流値は、あくまでも推定値にすぎません。
2. 条件によっては、記載された範囲内でもアークや発熱が発生します。使用開始前には必ずアークの発生や発熱等の有無を確認し、使用可能な電流値の範囲をご確認した後使用して下さい。
3. 使用後は接触部の摩擦等によりアークや発熱が発生します。使用を開始したら、必ず定期的にあークや発熱等が発生していない事をご確認の後、使用を継続するようにしてください。

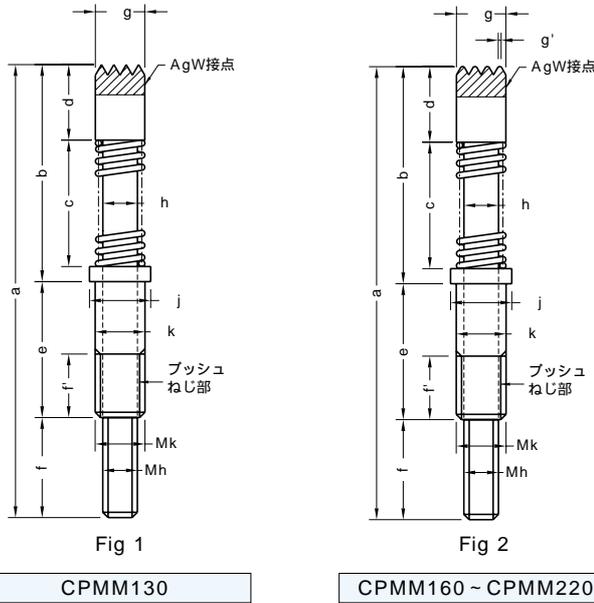
警告

ワークの材質や形状等によりアークの発生または発熱等の問題が発生することがあります。使用開始前には必ず、使用中は定期的にあークの発生や発熱等の有無を確認してください。上記問題が発生した場合は速やかに使用を中止してください。放置した場合は火災などの発生を引き起こす場合があります。

先端形状記号の参照ページ	
VC	P284

AgW接点 大電流用導電接触ピン CPMM130~CPMM220

先端の材質にAgW合金を使用し、突入電流が100A以上の場合でも使用可能な、大電流用の導電接触ピンです。絶縁被膜があると接触不良により、アークが発生する場合があります。全てのワークで使用可能なわけではありませんので注意してください。



CPMM130~CPMM220 (AgW接点 導電接触ピン)

プッシュ部耐久性 50万回以上
(2mmストローク、60回/60秒)

耐熱温度 100 以下

耐熱導電接触ピンは、特注仕様となります。

上記のプッシュ部耐久性は、社内テストの結果です。保証値ではありません。使用条件によっては寿命が短くなりますので、ご注意ください。

ナット寸法

(結線方法、ナット一覧表)

Fig	種類	Mk	ナット寸法 (mm)			Mh	ナット寸法 (mm)			使用可能電流 (A)	突入電流 (A)	固有抵抗 (m)	接触抵抗 (m)
			x	y	z		x	y	z				
1	CPMM130	M11 x P0.75	14	16.5	4	M8 x P0.75	10	11.5	3	70以下	100以下	0.1	2.0以下
2	CPMM160	M14 x P1	18	21	5	M10 x P1	13	15	4	150以下	200以下	0.08	
2	CPMM180	M16 x P1	21	24.5	5	M12 x P1	16	18.5	4	200以下	250以下	0.03	
2	CPMM200	M18 x P1	21	24.5	5	M14 x P1	18	21	5	220以下	300以下	0.02	
2	CPMM220	M20 x P1	24	28	5	M16 x P1	21	24.5	5	300以下	400以下	0.01	

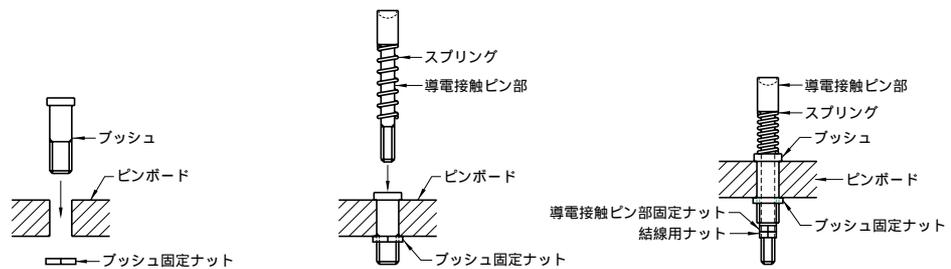
(プッシュ固定用ナット、結線用ナットは付属品となります。)

(mm)

Fig	種類	個別表参照頁	先端形状記号	a	b	c	d	e	f	f'	g	g'	h	j	k
1	CPMM130	P230	D 10 -AgW	51.5	23.5	15	7	15	13	7	10	-	8	13	11
			D 12 -AgW								12	-			
2	CPMM160	P231	DF 13 -AgW	58.5	23.5	15	7	20	15	11	13	0.3	10	16	14
2	CPMM180	P232	DF 16 -AgW								16	0.6	12	18	16
2	CPMM200	P233	DF 18 -AgW								18	0.6	14	20	18
2	CPMM220	P234	DF 20 -AgW					20			20	0.6	16	22	20

(ピンボード取付け方法)

軸受部、導電接触ピン部、スプリング、固定ナットの四部品を順次ピンボードに組み立てます。



注意

1. 接触部はワークの材質や形状の影響が大きく、一定の条件を保つ事は困難です。記載されている使用可能電流値や突入電流値は、あくまでも推奨値にすぎません。
2. 条件によっては、記載された範囲内でもアークや発熱が発生します。使用開始前には必ずアークの発生や発熱等の有無を確認し、使用可能な電流値の範囲をご確認した後使用して下さい。
3. 使用後は接触部の摩耗等によりアークや発熱が発生します。使用を開始したら、必ず定期的にアークや発熱等が発生していない事をご確認の後、使用を継続するようにしてください。

警告

ワークの材質や形状等によりアークの発生または発熱等の問題が発生することがあります。使用開始前には必ず、使用中は定期的にアークの発生や発熱等の有無を確認してください。上記問題が発生した場合は速やかに使用を中止してください。放置した場合は火災などの発生を引き起こす場合があります。

先端形状記号の参照ページ

D	P283	DF	P283				
---	------	----	------	--	--	--	--